



日本PTA

発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂
7丁目5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 寺本 充
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗
教に偏ることなく、小学校及び中学校にお
けるPTA活動を通して、我が国に於ける
社会教育及び家庭教育の充実に努めると
ともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子
どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、
もって社会の発展に寄与する。

主な内容
1面
○年次表彰式
2面
○年次表彰式
○優良PTA紹介
3面
○全国研究大会
札幌大会総括
4面
○日本PTA
ブロック研究大会
5面
○日本PTA
ブロック研究大会
6面
○刊行物のお知らせ
7面
○「日本PTA
推薦」について
○心のぎずな61
教育支援基金
について
8面
○教職員定数削
減反対
○国内研修事業

平成27年度年次表彰式
文科大臣表彰127団体、日P会長表彰121団体、236人

会員の一步 子ども支える原動力に



公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 寺本 充

PTAの役割 再確認を

11月19日(木)東京都千代田区のホテルニューオータニにて、27年度PTA年次表彰式が文部科学大臣 馳浩様をはじめ多数のご来賓をお迎えし盛大に開催された。今年度受賞したのは、優良PTA文部科学大臣表彰127団体、日本PTA会長表彰団体121団体、個人表彰232人、そして感謝状が4人に贈られた。また第37回全国小・中学校PTA広報紙コンクールの表彰式も同時に行われた。

皆さんこんにちは。27年度年次表彰式ならびに広報紙コンクール表彰式に受賞者の皆様、PTA関係者の皆様に出席いただき、ありがとうございます。
そして受賞される皆さま、本当におめでとつございます。馳浩文部科学大臣を始め、多くのご来賓の方々にご出席いただきました。厚く御礼を申し上げます。
各地域、各単位PTAにおいて日頃より、子どもたちのために、学校や地域・家庭それぞれの分野で大きな力を発揮していただいていることに、感謝を申し上げます。
これを機会に、再度、何故私たちがPTA活動として一生懸命取り組んでいるか、郡市区町村や都道府県、そして日本PTAと、それぞれの役割、存在意義をしっかりと整理し、今日まで脈々とPTAが続いている、また、活動が繰り広げられている大切さを再認識したいと思います。
中にはPTAが不要とおっしゃる方もいますが、PTA

が存在し、地域の皆さんが力を合わせているからこそ、子どもたちの日々の学び、生活環境が守られているのです。それは、ひいては汗をかいてくれた大先輩がいたからこそ、子どもたちの環境が整備され、今日、私たち、子どもたちがいることにつながります。
単位PTAが最前線で活動し、いことを郡市区町村PTAとして力を合わせて実現していく。また例えば警察、行政にもを言う時は各市町村では難しい。その時には、都道府県PTAが皆さんのそれぞれの声を集めて「子どもたちの安全を確保のためにお願いいたします」と警察や行政に要請することがあります。
同様に、組織が一つになっているからこそ日本PTAとして、こうして皆さんにお集まりいただけますし、文部科学大臣にご臨席していただけるのです。また教育を良くしようという他の組織・団体が激励に駆けつけてもいただけません。
日本をけん引していく、馳文部科学大臣をはじめ、議員の方々、省庁で働く皆さん方にも、私たちは感謝の念を禁じえません。ご承知の通り財政が厳しいということ、財務省などが教職員の削減を求めているのはご承知の通りです。日本PTA

は教職員の定数削減に反対する緊急要望書を提出しております。馳文部科学大臣も、関係する多くの先生方、団体の皆さんもまた、同じ気持ちかと思えます。子どもが減るかと言ってしまう機会に削減することはまかりならない、現場を見ないまま教員の削減はまかりならない、皆様方と力を合わせ、今各方面に呼びかけをしなから活動をしていきたい。私たちは、子どもたちがどんな状況にいるかを一番わかっていく団体です。いじめ、虐待、不登校、子どもたちの相対的貧困といった問題が子どもたちの生活環境・教育環境を脅かす現実があります。
経済的な理由だけでなく、特別支援が必要な子どもたちも少なくありません。多様な子どもを知る私たちだからこ

そ、しっかりと連携をして、その現実を伝え、子どもたちの、そして学校教育現場のよい環境作り、より良い教育を目指していきましょう。
私たち一人一人の力は小さいけれど、100人が集まると100人の一步、1000人の一步、そして日本PTAの1000万人ちかい会員の一步が世の中を、そして子どもたちを支える原動力になっていくことを再認識しながら、これからも手を取り合って進んでいきたいと考えています。
今日感謝状、表彰状等を受け取る皆さんはその先頭に立っていただき、これからも子どもたちのために、そして学校・家庭・地域で輝くために、一層のご活躍を祈念し、挨拶にかえさせていただきます。
本日は誠にありがとうございます。



皆さんこんにちは。私もPTAの役員をやらせていただきました。妻はまだPTAの広報委員をしています。
Aの役員をやらせていただきました。妻はまだPTAの広報委員をしています。
Aの役員をやらせていただきました。妻はまだPTAの広報委員をしています。



文部科学大臣 馳浩氏
皆様こんにちは。私もPTAの役員をやらせていただきました。妻はまだPTAの広報委員をしています。
Aの役員をやらせていただきました。妻はまだPTAの広報委員をしています。

これは、保険業法の改正に伴う無認可共済制度の改革があったときに、皆様方のPTA活動中に傷害等の事故が発生した場合、治療費等の支払いを補償する共済として、特に文部科学省ではPTAの役割を重要視した上で、金融庁にも指導いただきながら、P

安心な環境作りに尽力



表彰状を手渡す馳大臣

従いまして、本日受賞される皆様のお祝いを申し上げますとともに、引き続き、教育の現場を支えていただきたい、このことをお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。どうぞ今後ともよろしくお祈り致します。
ありがとうございます。

本紙は各校PTAに、「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局員用」を目安に配布しています。

多くの出会いに感謝

受賞者代表

謝辞

受賞者代表 富永 大輔 氏

本日、この場所で表彰を受けることは、身に余る光栄と共に、今までの活動・責任を全うできた嬉しさもあり、誠にありがたく思います。受賞者を代表して一言お礼を申し上げます。

大きな仕事や功績を残され受賞された皆様も、PTA活動をすることで、苦しいことやつらいことがたくさんあったと思います。それを乗り越えられたのも家族や、周りの方々の協力があったからと感謝に堪えません。

私も、PTAに長年関わることができたのは、5人の子どもたちがいてくれたからです。現在24歳の長女が6年生の時から、12年間に及びます。そして私が留守の間、しっかりと家庭を守ってくれた妻には感謝しかありません。「あ



文部科学省・公益社団法人日本PTA 第37回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール



りがとつ」と伝えたいです。役員在任中は朝5時に起き6時には家を出て大分空港へ。9時10分に羽田空港に着陸。9時20分台のモノレールに乗り込み、10時前の大江戸線に飛び乗る。15分程で南青山に着き、10分ほど歩いて日Pの事務局へ。通勤のよつでした。総務委員会に籍を置き、公益社団法人化への議論に多くの時間を割きました。日本PTAへの入会申込書作成など、新たな取り組みを行い、まさに変革の渦中にあることができたのも私の人生の大きな経験となりました。心の絆キャンペーン、震災対応委員会の副委員長を拝命致しました。東日本震災による遺児孤児に、全国各地の多くの方々からの募金を基金として、教育支援金を届けることができました。約850万会員の力の大きさを教えていただきました。今後子ども達を守り続けていただければ、と思います。最後にになりましたが、わがままで優柔不断なこの私を支

えていただいた日P事務局や理事・委員会の皆さん、九州ブロック関係の皆さん、本当にありがとうございました。そして震災対応委員会で視察に行った時、大変な状況にもかかわらず、一生懸命対応してくれた東北ブロックの皆さん、九P大会沖繩大会の時に温かくもてなしてくれた沖繩の皆さんをはじめ、多くの方々との出会いが私を成長させてくれました。振り返ると楽しい思い出が多く、感謝しかありません。本日ここにいらっしやる皆



平成27年度PTA年次表彰式 文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会 第37回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式

第37回全国小・中学校PTA広報紙コンクール受賞団体

様と、これまで関わりのありました全ての皆様への感謝とご健勝を祈念して、謝辞とさせていただきます。地上の星・愛してやまない子どもたちのため、皆さんも楽しくPTA活動をしてください。本日はありがとうございました。



優良PTAの活動紹介

日本PTA全国協議会会長表彰 個人受賞

藤田 武男 氏 (前 北九州市PTA協議会会長)



子どもが小学校へ入学し、私もPTA会員となり、そして知人に誘われ一つの委員会委員長の役に仰せつかりました。この10年間を振り返ってみると、最初の1年目がPTA活動の基本となったような気がします。交通安全対策の活動があり、1年間、毎朝、横断歩道に黄色い旗を持ち立ち続けました。いろいろな家庭の子ども達が通る中、

子ども達を見守り育てていくには、一人の力では何もできませんが、家庭・学校・地域の連携により最大の力を発揮できます。心休まる場所である家庭、尊敬

日本PTA全国協議会会長表彰 団体受賞

秋田市立勝平中学校PTA



れーて勝平日吉神社



れーて勝平苑

この度、日P表彰の栄誉を受け、本校関係者一同感謝申し上げます。さて、本校は幼稚園、保育園、市立の小学校、中学校それに、秋田商業高校と、地域内に「幼稚園大運動会、神社祭典、コミュニティセンター祭り、盆踊りなど、地域挙げての行事に住民が率先して参加しており、本校生徒やPTAは、地域の一体にすぎませんが、地域に支えられながら、今回の受賞を機に、今後とも「愛して止まない子どもたちのために」会員が心を一つにして活動してまいります。(PTA会長 加藤 寿一)

優良PTA文部科学大臣表彰受賞

東京・荒川区立峡田小学校PTA

全校児童380名弱の中規模校である峡田小学校は、上野寛永寺の寺領であった地に前身の第一峡田小学校が明治16年に開校されてから130年以上の歴史を刻んでいます。長い歴史の中、関東大震災で甚大な被害を受けた後も、戦火で校舎が焼けた後も、地域の人の手で学校が再建されてきました。下町という人情味あふれる地域でもあり、常に地域全体で子どもたちの成長を見守る空気が強く根付いています。親善スポーツ大会、ドンとや

るう大会、子どもオリンピックなど、地域で行う行事も多くあります。子どもたちもそのような環境からか、地域で顔を合わせても自然に挨拶ができ、PTA・学校・地域の連携の理想の形ができていくと思います。また、PTA行事には当たり前のように他校のPTA会長や卒業生が来て、手伝いをしてくれるなどの協力体制も強く、今後もこのような縦のみならず横の繋がりが大切にし、地域と一体となり子どもたちを育てる伝



統を守りつつ、時代に合わせたPTA活動のあり方、意義を常に考え、より効率良く効果の高い運営を目指していきます。(PTA会長 櫻井 幸市)

# 第63回日本PTA全国研究大会札幌大会



第63回日本PTA全国研究大会  
第62回日本PTA北海道ブロック研究大会

## 倉本聡氏が記念講演 「あなたは子どもたちの想像力を育てていますか」

第63回日本PTA全国研究大会札幌大会が「ひろがれ！子どもの夢 つながれ！親子」をテーマに、札幌から始まる、これからのPTAという大会スローガンを掲げ、北国の爽やかな夏空の下、8月21・22日に開催されました。一日目の分科会は札幌市内10会場に分かれ「未来ある子どもたちのために」活発な学び合いがなされ、その成果は札幌大会の大会宣言にまとめられました。

親や教師は心を大切にしながら暮らしを与えて、と語りかける倉本聡氏。講演の最後に倉本氏は「あなたは子どもたちの想像力を育てていますか」と題してご講演をいただきました。落ち着いた中に力強さを感じる語り口で、時にユーモアを交えながら展開されるご講演に、会場にいた7100人が一瞬にして引き込まれました。戦時中から高度成長期を駆け抜けた現代までの70年間の社会、教育、人々の変化についての想いが、ドラマのワンシーンのように印象的なエピソードと共に語られました。倉本氏が生きてきた時代に体験されてきた生活と教育の逸話から、現代の私たちが得たものと豊かさや引き換えに失ったものに気づかされ多くの学びがありました。

倉本氏が今の時代に欠けていると語った「子どもが持つべき想像力」とは、「人の気持ちと心を育てるだけ深くおもんばかる力」です。この「想像力」があれば今の子どもたちを取り巻く課題の多くが解決に繋がるのではないのでしょうか。講演の最後に倉本氏は「あなたは子どもたちに、今を生きている子どもたちに物質面ではなく心の面を大切に育てる必要があると伝える「子どもに対する親の責任を十分に果たして欲しい」と締めくくりました。

### 第1分科会【組織運営】

#### 「チーム力の育み方！」

～ともにふみだそう、ともに育てよう、ともにつなげよう Let's enjoy PTA～

基調講演は、南極料理人の西村淳氏が世界一遠距離単身赴任である南極観測隊のチーム力が育っていく過程をユーモアたっぷりに語っていただきました。実践発表では、PTAの見直し事例として「PTAと地域の連携の取り組み」が紹介され、その後のパネルディスカッションでは、パネリストの方々からそれぞれの立場でチーム力を育むための工夫を発表していただき、魅力あるチームづくりについて考えることができました。



あなたに文明に  
麻痺してませんか

石油と水は  
どっちが大事ですか  
車と足は  
どっちが大事ですか  
知識と智慧は  
どっちが大事ですか  
批評と創造は  
どっちが大事ですか  
理屈と行動は  
どっちが大事ですか  
あなたは感動を忘れていませんか  
あなたは結局何の為に生きていませんか  
わが世の香を福転じていませんか

聡

「平和」を守らなければならぬ。今だからこそ、教育が再び時代に翻弄されることのないように、親として大人として「未来ある子どもたちのための」責任の重さを感じた素晴らしい記念講演でした。

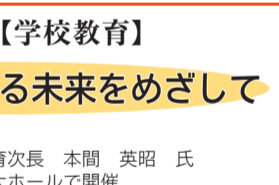
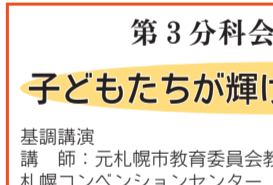
### 第2分科会【家庭教育】

#### 奏でよう心のハーモニー

～家庭・学校・地域がはぐくむ愛と力～

「家庭力を高める」をテーマに、円山動物園でのホッキョクグマの飼育の様子やクマの家族の関係、種の保存の大切さや飼育員の体験から家族というもののあるべき姿を考え、家庭力とは何かを学びました。

学校と家庭・地域との連携、働く親がPTAに参加することによる家庭での効果を実践発表したのち、パネルディスカッションでは「家庭力」とは何かをテーマに、子どもたちに何を伝えるのか、しつけをする意味は何か、などを話し合いました。



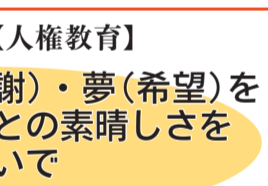
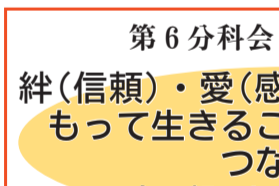
### 第5分科会【地域連携】

#### 子ども一人一人を育むための『地域連携』のあり方

今、家庭、学校、地域社会が、心豊かに青少年を育成するためにそれぞれの責任と役割を果たしながら連携協力することがより強く求められている。その連携をより活性化させていくために、それぞれの連携の橋渡しをしていくのがPTAと考えられる。

講演では、幼少時の教育の大切さと子どもを取り巻く環境が子どもをよい方向に変えていくという講話をいただきました。実践発表は、札幌市の児童会館の活動の様子や保護者にとって児童会館がなくてはならない施設になっているという事例発表、札幌市立札幌北小学校の実践発表は、地域の中にある大学施設等と学校がリンクすることで、子どもたちの学習活動の広がりや深まりにつながっているという事例が発表された。

パネルディスカッションでは、実践発表事例から今学校、家庭が抱えている諸問題についての実態や解決策を探る話し合いがなされた。



### 第8分科会【健康安全】

#### 「食から得られるいのち」

基調講演では、有畜農業を実践されている駒谷氏より「食は命を作る源」との熱い思いを語って頂いた。実践発表およびパネルディスカッションでは、食の提供者としての漁師、子どもたちへ食を提供する栄養士およびPTAのそれぞれから貴重な報告を頂き、食は子供たちの成長や変化にどのように関わっているのか、未来ある子供たちが健康安全に豊かな生活を送れるよう「食」の大切さについて参加者全員で改めて考える有意義な分科会となった。

### 特別第1分科会【日本PTA担当】

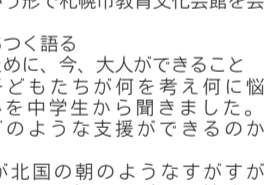
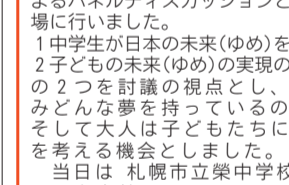
#### 「子の未来を知り、支援する保護者の力」

第一部を、千堂あきほ氏を対談講師に迎え、沢英里子氏と共に講演いただき、第二部は札幌市東区の中中学生5人と大人3人によるパネルディスカッションという形で札幌市教育文化会館を会場に行いました。

1 中学生が日本の未来(ゆめ)をあつくる  
2 子どもの未来(ゆめ)の実現のために、今、大人ができることの2つを討議の視点とし、子どもたちが何を考え何に悩んでいるのかを中学生から聞き取りました。そして大人は子どもたちにどのような支援ができるのかを考える機会となりました。

当日は札幌市立東区中学校が北国の朝のようなすがすがしい和太鼓のアトラクションで、元気いっぱい歓迎の気持ちを表し、その後は、研究課題に沿った形で千堂あきほ氏と沢英里子氏による対談形式での基調講演が行われ、これまでの芸能生活での努力や現在拠点にしている札幌での生活・子育てなどを語っていただきました。

昼食をさみ札幌市立札幌北中学校吹奏楽部による「ウエルカム」朝ドラ「まれ」の主題歌「希望」などが披露された後、研究討論では、札幌市東区のスポーツ・芸術・生徒会に打ち込む中学生による意見発表が行われ、参加者の理解が深まるシンポジウムとなりました。

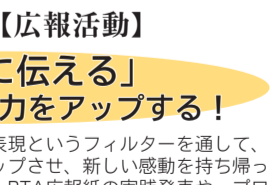
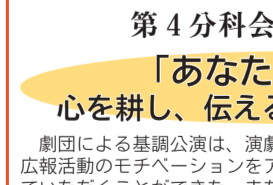


### 第3分科会【学校教育】

#### 子どもたちが輝ける未来をめざして

基調講演  
講師：元札幌市教育委員会教育次長 本間 英昭 氏  
札幌コンベンションセンター 大ホールで開催

一つの校舎内で教育活動を実践している大規模校の小・中学校のPTA活動の様子と、PTA連合会が主催し、約20年間続いている、札幌コンサートホール(Kitara)での、その区内の小・中学生の合唱、吹奏楽等の演奏会、親子ふれあい事業の取り組みの二つを発表、これらを通して望ましいPTA活動の在り方や、子どもの活動を通じた学校、家庭、地域のつながりを考える分科会を展開しました。



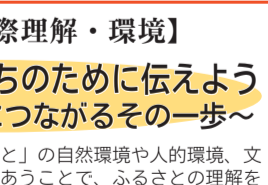
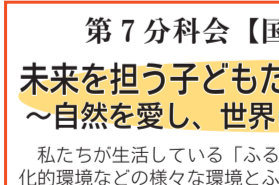
### 第6分科会【人権教育】

#### 絆(信頼)・愛(感謝)・夢(希望)をもって生きることの素晴らしさをつないで

～今 親としてできること～

講師 (株)植松電機専務取締役 植松 努 氏  
「思うは招く 夢があれば 何でもできる」  
会場 札幌全日空ホテル 3F「鳳の間」

「できないことを責めず、支えること」「自分の子どもを幸せにするために、親同士が助け合うこと」「安心・自信・自由を奪うのは、暴力であること」「正しい自立のためには、『責任』の向こうに本当の仲間がいること」「美しい言葉は、本を読んで身につけよう」等々、よりよき子どもの成長のために、親として、大人として、未来(絆・愛・夢)へつなぐ道を考えました。

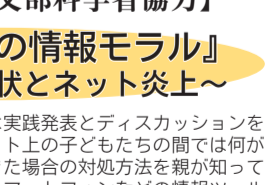
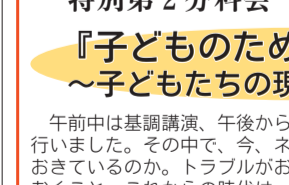


### 特別第2分科会【文部科学省協力】

#### 『子どものための情報モラル』

～子どもたちの現状とネット炎上～

午前中は基調講演、午後からは実践発表とディスカッションを行いました。その中で、今、ネット上の子どもたちの間では何がおきているのか。トラブルがおきた場合の対処方法を親が知っておくこと。これからの時代は、スマートフォンなどの情報ツールは必要不可欠であり、子どもと寄り添う心、知る努力が必要。そして、親子でしっかり話し合いながらルールをつくり上手に利用していくことが大切であることを学びました。



### 第4分科会【広報活動】

#### 「あなたに伝える」

心を耕し、伝える力をアップする！

劇団による基調公演は、演劇表現というフィルターを通して、広報活動のモチベーションをアップさせ、新しい感動を持ち帰っていただくことができました。また、PTA広報紙の実践発表や、プロの表現者からの提言で、「伝える」ことは人をつなげ、真摯な熱意あふれる広報活動が「PTA力」をアップさせ、そして、一緒に歩むPTAの仲間をつなぎ、支えることができるという基本姿勢を確認することができた。



### 第7分科会【国際理解・環境】

#### 未来を担う子どもたちのために伝えよう

～自然を愛し、世界につながるその一歩～

私たちが生活している「ふるさと」の自然環境や人的環境、文化的環境などの様々な環境とふれあうことで、ふるさとの理解を深め、愛することが、人間性や社会性を育て、国際人としての一歩ともなるという考えに立ち、その実現を目指した議論が進められました。



### 特別第2分科会【文部科学省協力】

#### 『子どものための情報モラル』

～子どもたちの現状とネット炎上～

午前中は基調講演、午後からは実践発表とディスカッションを行いました。その中で、今、ネット上の子どもたちの間では何がおきているのか。トラブルがおきた場合の対処方法を親が知っておくこと。これからの時代は、スマートフォンなどの情報ツールは必要不可欠であり、子どもと寄り添う心、知る努力が必要。そして、親子でしっかり話し合いながらルールをつくり上手に利用していくことが大切であることを学びました。



# 日本PTAブロック研究大会

絆の大切さ 熱く討議

## 第47回日本PTA東北ブロック研究大会

巨理・山元大会

○期日 10月3日・4日  
○場所 名取市文化会館  
他7会場

東日本大震災から4年と7か月。津波被災地での初めての開催となる第47回日本PTA東北ブロック研究大会が秋晴れの穏やかな中、「蘇る大地」ふるさとの復興と共に子どもたちに明るい未来をー」の大会スローガンのもと東北各地から1900名を超す会員を迎え開催されました。1日目の分科会は巨理小学校他7つの会場で開催され、それぞれのテーマに基づき震災当時の様子や復興へ向けた取り組み、今必要とされていることなどについて様々な視点から研究討議が行われました。第4、第5分科会では、家庭・地域と連携した小学校での防災教育、中学校教育の関わりについて、第7分科会では東日本大震災からのふるさと復興



金本氏語る大切さを続ける  
度開催の弘前大会での再会を願いながら、大会終了となりました。

## 第47回日本PTA関東ブロック研究大会

横浜大会

○期日 10月24日・25日  
○場所 パシフィコ横浜国立大ホール  
他6会場

興について話し合わせ、残された私たちは、発信し続けること、繋いでいくこと、信じ続けることが大切であり、子どもたちにふるさとを好きにならなければならない活動を展開していくことが必要であろうとまとめられ、どの分科会でも大震災での体験から親子の絆、PTAの絆、地域の絆の大切さが、今もそしてこれからも必要であることについて熱い討議が繰り広げられました。



知・徳・体に加え公・開の分科会

## 第71回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

石川県・小松大会

○期日 10月9日・10日  
○場所 こまつドームアリーナ  
他6会場

【子どもの生きる力「知・徳・体・公・開」想いをつなぐ教育文明開化「子どもたちと見せる未来への船出」】を大会スローガンに、第47回関東ブロックPTA研究大会横浜大会が、関東ブロック15協議会から延べ4000人が参加して開催されました。横浜市教育委員会は、学習指導要領の知・徳・体に加え、独自の公・開を加えた教育目標を掲げています。

それぞれの研究テーマを軸に、各協議会から14のPTAの特色ある取組の事例発表や体験授業、パネルディスカッションやワークショップと、基調講演が行われました。生きる力を育むために、多様な豊かな体験を通して自己を認め信じる心を育てる。無限の可能性を秘めた子どもたちをいっしょに、応援する思いを再確認しました。



より約2000名のPTA関係者が集い成功の裡に終えられた。小春日の好天に恵まれ、ロビーでの受付の背景には、琵琶湖が一面に広がり、参加者の皆さんは、琵琶湖の美しさと共に、国内有数のオペラホールであるびわ湖ホールでの全体会を満喫していただけたと存じます。

心に残った山崎さんの記念講演

## 第41回日本PTA近畿ブロック研究大会

滋賀県大会

○期日 11月6日  
○場所 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール  
大津プリンスホテル

開催地である石川県小松市は、「歌舞伎のまち」として知られています。それにちなみ、「子どもたちの未来を地域とともに」智・仁・勇の心から始まる未来への物語」を大会テーマに設定しました。

1日目は小松市内6会場で分科会を開催しました。第1、第2分科会は「家庭教育」がテーマです。親子がともに学び合うことや地域で学ぶことの大切さをめぐって議論を交わしました。



山崎氏語る山崎直子さんの経験をもとに  
は「学校支援」のあり方について協議しました。子どもが学ぶ環境を、地域とともに支えていくにはどうしたらよいか考え合いました。

体験・参加型の分科会も

## 第41回日本PTA近畿ブロック研究大会

滋賀県大会

○期日 11月6日  
○場所 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール  
大津プリンスホテル

えし「文字の力 言葉の力 生きる力」と題して、記念講演をしていただきました。子どもとコミュニケーションをとる時、表現力の豊かさや、想像力につながる言葉がけをすることが重要だという言葉が印象に残りました。

「自分の軸を持つこと」「備えが9割」「ミッションを成功させる鍵はコミュニケーション」「極限状況になればなるほど、基本が重要」どれも心にすんと落ちる言葉ばかりでした。終了後の質問タイムでは、ステージを降り、質問者に歩み寄って対話される姿に、山崎さんの温かいお人柄を感じました。



武田氏語る言葉がけの重要性



質問タイム

食をテーマに子育て学ぶ

第44回日本PTA四国ブロック研究大会 香川大会

○期日 10月11日
○場所 丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス



内田氏(左)と竹下氏(右)による対談

大会スローガンに「子どもの声を聴こう! みんなで考える子どもの未来」を掲げ、第44回日本PTA四国ブロック研究大会香川大会が開催されました。四国4県の大勢の方々に参加していただき、各県の特色ある実践発表と基調講演が行われました。

な発見!」「馬路式、お弁当の日を通して自立した子どもの育成、PTAと学校が協働したPTA活動」、「たのびの歩み」とこれからの四国各県の食に関する実践発表は、今後のPTA活動の参考になったと思います。



「食を通じた子育て」

「奇跡のいのちをつないでいく子どもたち」と題し、助産師・思春期保健相談士の内田美智子氏にお話をいただきました。子育てにおいていろいろなことに気づかされ、感動的な講演になったと思います。

その後に「家庭における『食』を通じた子育て」をテーマとして、基調講演に引き続き内田氏と、子どもだけで作る「弁当の日」提唱者の竹下和男氏による対談をしていただき、考えさせられることが多いながら、楽しく感動的

記念大会機に研究領域見直し

第60回日本PTA九州ブロック研究大会 福岡市大会

○期日 10月24日・25日
○場所 福岡市 マリンメッセ福岡 他10会場

「今こそ深めよう!! 学校・家庭・地域の絆 共に感じ、共に学び、共に育つ絆づくり」共感・共学・共育をスローガンに掲げ、第60回日本PTA九州ブロック研究大会福岡市大会は、九州各地より約一万人の方々にお集まりいただき、盛会に行われました。

共に育つ」ために、今我々PTAが地域や関係団体と様々なコミュニケーションを形成し、次代を担う子どもたちを社会全体で育むための活動について共に考える大会でありたいという思いから掲げさせて頂きました。

さらに、本大会は第60回の記念大会でもありました。思い起こせば3年前に、九州各県と政令指定都市を代表するPTA会長10人が集まる

会議の中で、この福岡市大会から研究領域の見直しを行ってほしいとの依頼がありました。そこで、準備委員会を立ち上げ、記念大会に相応しいシンブルで誰にでも分かりやすい研究領域を提案し、この福岡市から発信したいという気持ちで、

流しながら、必死にがんばってききました。「絶対に大会を成功させよう」と励ましてくださった九州ブロックPTA協議会の理事の方々をはじめ、これまで関わってくださったお一人お一人の方に敬意を表して、感謝のご挨拶とさせていただきます。



記念講演する藤原紀香氏

ブロック研究大会 (一覧)

Table listing various PTA block research conferences including dates, locations, and speakers. Examples include the 47th Northeast Block Conference (Oct 3-4) and the 45th China Block Conference (Nov 8).

津田小、浜田東中など実践報告

第45回日本PTA中国ブロック研究大会 島根県・出雲大会

○期日 11月8日
○場所 島根県立浜山体育館カミアリーナ

「育まこい! 家庭・学校・地域の縁」をスローガンに、第45回日本PTA中国ブロック研究大会島根県出雲大会が津田小、浜田東中の皆さんに『PTA活動に今必要なこと』、浜田東中の皆さんに『地域に支えられた小・中・高の絆づくり活動』をテーマに実践発表をして頂きました。

一中的皆さんに実践発表をして頂きました。また、PTA活動の活性化を目的とした島根県PTA支援事業を受けられた津田小の皆さんに『PTA活動に今必要なこと』、浜田東中の皆さんに『地域に支えられた小・中・高の絆づくり活動』をテーマに実践発表をして頂きました。

最後に今大会を開催するにあたりご尽力いただいたすべての関係者の皆様、出雲の実



スポーツを通じた心の育成などについて語る奥村氏

記念講演は、NPO法人ベースポールスピリッツ理事長奥村幸治(おくむら・こうじ)氏。「子どもの能力を伸ばす体づくり」を演題に講演しました。

伊チロー選手や田中将大選手との出会いや関わり、感じたことなどの話をおりませながらスポーツを通じての心(メンタル面)や、継続の大切さなどを講演して頂きました。

行委員会、200名を超えるスタッフの皆様、強い絆に感謝申し上げます。ありがとうございました。



# PTAの疑問にお答えする2冊！！



## 今すぐ役立つ！ PTA活動実践マニュアル ～子どもたちの未来のために～

「今すぐ役立つ！PTA活動実践マニュアル～子どもたちの未来のために～」は、これからはじめてPTAに関わる方、初めてPTA役員をされる方に贈るマニュアル本です。PTAの始まりから、現在PTAが抱える問題について、説明とともに詳細に記されています。また、PTA活動に必要な「あいさつ集」「スピーチマニュアル」「お知らせ等の書式」「会議進行表・司会原稿」をはじめ、「困った時に皆どうやって解決したのか」を実例とともに紹介しながら、問題解決の糸口を示します。この本があれば、PTAに初めて携わる方も心配はありません。日本PTAが総力を結集し、満を持してお贈り致します！（平成28年3月 A4変形判 発行予定）

## PTA組織運営事例集

「PTA組織運営事例集」は全国の学校から寄せられた、活動事例を紹介するとともに、今日的に起こる問題にどう対処し、どう解決していったかを多数掲載しています。日本PTAが長年発行してきた「実践事例集」、昨年発行しメディアでも取り上げられ大反響を呼んだ「実践事例ガイド」の最新版となります。今回、「組織運営・改革の取り組み」「会計（経理）の簡素化と公開・見える化」「事業活動の活性化と効率化」「地域との連携・他機関との連携、地域コミュニティの核となったPTA活動」「安心・安全のためのPTA活動」とテーマを絞り、全国各地のPTAが取り組んだ活動を紹介します。（平成28年3月 A5判 発行予定）

ご期待ください！  
今後の刊行物発行のお知らせ

## 調査研究報告書が発行されます

全国の小学校5年生児童、中学2年生徒を対象に行っている調査研究報告書の27年度版が3月に発行されます。この調査報告書は、各単位PTAの研修会や都市PTA、県・政令市協議会の研究会で利用されるのみならず、大学や教育委員会の研究にも広く活用されており、保護者や教職員、地域の方たちの勉強会のテキストや、講演や行事等での挨拶の際のテーマ探しや根拠として、調査結果や分析内容を、活用ください。

## 教育に関する 保護者の意識調査



この調査は、「学校週休5日制」が実施された平成14年に保護者に対して意識調査を開始して以来、基本的な教育に関する項目と今日的課題とを織り込み継続的に実施しているものです。

子どもたちにとって豊かな育ちが保障され、社会を生き抜く力が身につく、これからの日本の未来を担う宝として、社会全体で育む地域資源や人材を活用した取り組みが必要です。

これらの取り組みが、学校教育を中心にして家庭教育、地域教育に波及し、よりよい社会環境の醸成につながることを期待しつつ、教職員やその教育活動を支援する地域住民やコーディネーター

## 子どもとメディアに関する意識調査



子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、安全を脅かす事案が年々増加しています。

特にケータイ・スマホ・インターネット等によるサイバー空間の脅威に対しては、保護者が責任をもち、使用することを前提とした事前教育に取り組む、子どもたちが安心して有意義に使える生

この報告書を学校や地域での勉強会に活用して頂き、今子どもたちが置かれている教育の現状について、議論と再認識をして頂ければ幸いです。

この報告書を学校や地域での勉強会に活用して頂き、今子どもたちが置かれている教育の現状について、議論と再認識をして頂ければ幸いです。

活ツールとしての正しい知識を身につけさせる必要があります。

私たち保護者は率先して現状を把握し、環境の変化等から波及するあらゆる脅威から子どもたちを守り、安全で安心な環境づくりと生活習慣を安定させる役割を果たしていくことが必要になっていきます。

ぜひ研修会や勉強会等でこの調査報告書を活用頂き、保護者が今なすべきこと、知らなければならぬことの再確認をして頂ければ幸いです。

## ★広報に関する研究会報告★



今年8月に発足した幼稚園から高等学校までのPTA団体、教育関係団体及び大学等の連携・協力の充実を目指す研究会の種は、順調に芽吹き、大樹になるため成長しています。

連携・協力の一環として9月末から11月に開催された日本PTAブロック研究大会では、日本教育新聞社と全国6箇所で行われた大会を巡り、(一社)全国図書教材協会は九州ブロック大会での展示を行いました。

また、(公社)日本教育会が発行する機関紙「日本教育」において、日本PTAが紹介されました。

11月19日の日本PTA年次表彰式では、全国連合小学校長会から千木良康志様、全日本中学校長会から富士道正尋様、全国高等学校長協会から小栗洋様、(公社)日本教育会から滝澤雅彦様、(一社)全国高等学校PTA連合会から池口康夫様、全国国立大学附属学校PTA連合会から田中一晃様、(一社)全国図書教材協議会から佐野金吾様、渡部竜士様、日本教育新聞社から小林幹長様、また広報紙コンクルの審査もお願いしている家庭教育新聞社から菊地清広様他、多数ご来賓として出席を頂きました。

今後も様々な活動の中で連携・協力を図り、子どもたちのためにより良い教育環境・生活環境づくりを目指し連携・協力の充実を図ります。

なお、第2回広報に関する研究会は12月8日に開催する予定です。

## お知らせ

日本PTA新聞348号でご紹介しました「いじめ対策に関する保護者向けハンドブック」と「日本PTAパンフレット」ですが、沢山の方にお問い合わせ頂きますと、現在在庫がなくなりかたとなっております。

「日本PTAパンフレット」は4月に新しいものが発行

予定となっておりますので、今しばらくお待ち下さい。

また、「いじめ対策に関する保護者向けハンドブック」は、日本PTAホームページにおいて公開しております。

これらの郵送をご希望の方は、お手数ですが在庫をお問い合わせ頂いた上でお申込み下さい。

また、希望部数によってはご期待に添えない場合がございます。



物品名	会社名	決定期間
学研まんががよくわかるシリーズ 地域のひみつ編 埼玉県のひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.1.1~2015.12.31
語学研修・海外ホームステイ・異文化交流プログラム等の国際教育サービス	株式会社アイ エス エイ	2015.1.1~2015.12.31
スクールシューズ	ラッキーベル株式会社	2015.1.1~2015.12.31
GPS防犯ブザー付きケータイ「mamorino 3」	KDDI株式会社	2015.2.1~2016.1.31
学研まんががよくわかるシリーズ99 コンピューターのひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.4.1~2016.3.31
学研まんががよくわかるシリーズ100 はたらくロボットのひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.4.1~2016.3.31
ドコッチ01	株式会社NTTドコモ	2015.4.1~2016.3.31
みまもりGPS SoftBank201Z	ソフトバンクモバイル株式会社	2015.4.1~2016.3.31
学童用筆入	クソワ株式会社	2015.3.1~2016.2.28
月刊誌「ちゃぐりん」	一般社団法人 家の光協会	2015.4.1~2016.3.31
子ども防犯ニュース	株式会社少年写真新聞社	2015.4.1~2016.3.31
まんが社会科見学シリーズ5 大研究!化粧品のうちから	株式会社講談社ビーシー	2015.4.1~2016.3.31
まんが社会科見学シリーズ6 大研究!航空会社の仕事	株式会社講談社ビーシー	2015.4.1~2016.3.31
まんが社会科見学シリーズ7 大研究!ひろがる印刷の世界	株式会社講談社ビーシー	2015.4.1~2016.3.31
ジャポニカ学習帳シリーズ	ショウワノート株式会社	2015.4.1~2016.3.31
Webフィルタソフト「InterSafe (インターセーフ)」	アルプスシステム	2015.4.1~2016.3.31
エスパ―学生服上下	エクセル株式会社	2015.4.1~2016.3.31
まんが社会科見学シリーズ8 大研究!ガムってすごい!	株式会社講談社ビーシー	2015.5.1~2016.4.30
Yahoo! あんしんネット	ヤフー株式会社	2015.5.1~2016.4.30
傷害保険 (こども総合保険等)	AIU損害保険株式会社	2015.5.1~2016.4.30
学研まんががよくわかるシリーズ101 3Dプリンターのひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.6.1~2016.5.31
LED照明器具 LEDペンダント	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	2015.6.1~2016.5.31
LED照明器具 LEDシーリングライト	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	2015.6.1~2016.5.31
LED照明器具 LEDデスクスタンド	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	2015.6.1~2016.5.31
学研まんががよくわかるシリーズ102 冠婚葬祭 儀式のひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.7.1~2016.6.30
学研まんががよくわかるシリーズ103 グラノーラ・コーンフレークのひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.7.1~2016.6.30
学研まんががよくわかるシリーズ104 化学のひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.7.1~2016.6.30
みまもりケータイ 3	ソフトバンクモバイル株式会社	2015.7.1~2016.6.30
まんが社会科見学シリーズ9 大研究!チョコレートって楽しい!	株式会社講談社ビーシー	2015.8.1~2016.7.31
LED電球 光色切替タイプ【ダイニング向け】	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	2015.8.1~2016.7.31
カスペルスキー 2015 マルチプラットフォーム セキュリティ	株式会社カスペルスキー	2015.8.1~2016.7.31
ウイルスバスターシリーズ	トレンドマイクロ株式会社	2015.9.1~2016.8.31
i-FILTER	デジタルアーツ株式会社	2015.8.1~2016.7.31
Net Nanny インターネットフィルタリング	AOSテクノロジーズ株式会社	2015.8.1~2016.7.31
男女学生服・学童服	東レ株式会社	2015.8.1~2016.7.31
学童ノート・コンパス・鉛筆キャップ・のり・下敷き・鉛筆削器 消しゴム・はさみ・定規・筆入れ・鉛筆・彫刻刀 (全12品)	サンスター文具株式会社	2015.8.1~2016.7.31
学研まんががよくわかるシリーズ105 化粧品のひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.9.1~2016.8.31
鉛筆・色鉛筆 (三菱鉛筆ブランドおよびキャラクターシリーズ)	三菱鉛筆株式会社	2015.9.1~2016.8.31
盗難防止ロックシステム「ガチャリコ」「ガチガチロック」	パナソニックサイクルテック株式会社	2015.9.1~2016.8.31
JESシューズ (体育館及びグラウンド履き用学校シューズ)	J E S 日本教育シューズ協議会	2015.10.1~2016.9.30
学研まんががよくわかるシリーズ106 電気で走るクルマのひみつ~EV・PHEV~	株式会社学研パブリッシング	2015.10.1~2016.9.30
学研まんががよくわかるシリーズ107 氷のひみつ	株式会社学研パブリッシング	2015.10.1~2016.9.30
キッズケータイ HW-01G	株式会社NTTドコモ	2015.10.1~2016.9.30
ヘルマーク付き生命保険	ジブラルタ生命保険株式会社	2015.10.1~2016.9.30
えでゅけっと (学校法人向けインターネット接続サービス)	株式会社NTTぷらら	2015.11.1~2016.10.31
電動アシスト自転車	パナソニックサイクルテック株式会社	2015.11.1~2016.10.31
通学用ヘルメット	株式会社大洋プラスチック工業所	2015.11.1~2016.10.31
文春まんが 読みとくシリーズ 大学ここが知りたい!	株式会社文藝春秋社	2015.12.1~2016.11.30
学研まんががよくわかるシリーズ「未来の車のひみつ」	株式会社学研プラス	2015.12.1~2016.11.30
Atermシリーズ 子ども安心ネットタイマー	NECプラットフォームズ株式会社	2015.12.1~2016.11.30

日本PTAでは、児童・生徒等の学校教育、家庭生活の状況が高く、広く利用促進普及が認められるが、正しく利用促進普及が認められるが、

業または物品を協賛事業推薦委員会において審査を行い、決定し、推薦しています。(協賛事業推薦規程) 推薦期間は1年間。

11月19日現在推薦商品は表のとおりです。また、映画の推薦事業を行っております。

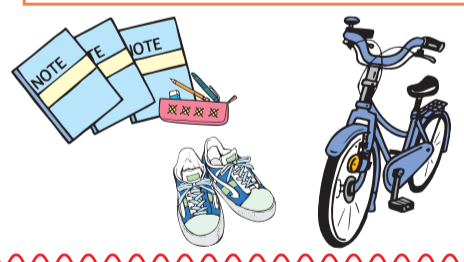


# 「日本PTA推薦」について

## 日本PTAが推薦する物品・事業を紹介いたします

### 「注意下さい!」

実際は推薦をされていないにも関わらず「日本PTA推薦」と語っている商品があるという報告が届いています。現在、日本PTAが推薦しているものは左図の表の商品が全てであり、推薦期間は決定から1年間です。推薦期限が過ぎたもの・過去に推薦を受けた際の記載が残っているものもありますが、一切推薦を受けたい商品でも表示されている場合がありますのでご注意ください。そういった虚偽の記載をしている商品(物品に限りません)がございましたら、日本PTAまでご一報頂きます様お願い申し上げます。



## 心のきずな61 教育支援基金について

日本PTAでは、心のきずな61教育支援基金を通じて、被災地の子どもたちへの支援を行っています。子どもたちが笑顔で共に学べる環境づくりを目指し、また心のケアを目的とした教育支援基金は、平成28年度(平成29年3月末)まで継続して行います。

現在、日本PTAのホームページに教育支援基金の「募集要項」・「募金要項」・「教育支援基金ちらし」が掲載されています。現在までに寄せられました全国の皆様からの真心こもった募金に、心より感謝申し上げます。今後、基金へのご理解、ご協力を願って申し上げます。

(日本PTAホームページ)  
<http://nippon-pta.or.jp/>

公益社団法人日本PTA全国協議会は、子どもたちの豊かな学びの確保の観点から

# 教職員定数削減に反対します

公益社団法人日本PTA全国協議会は、青少年の健全育成を願い、全国的な教育水準の維持向上を促進する立場から、教職員定数削減に反対します。子どもの数が減っているからと教職員定数を削減すれば、少人数教育や特別な支援が必要な子どもたちへの対応等きめ細かな取組ができなくなり、子どもたちの教育環境が悪化することは明らかです。

公益社団法人日本PTA全国協議会としては、青少年の健全育成を願い、全国的な教育水準の維持向上を促進する立場から、教職員定数削減ありきで議論されている状況を憂慮し、教職員定数の削減に反対する緊急要望書について決議しました。



萩生田光一議員に要望書を渡す寺本会長

平成二十七年十月二十九日

## 教職員定数の削減に反対する緊急要望書

公益社団法人日本PTA全国協議会  
会長 寺本 充

公益社団法人日本PTA全国協議会は、都道府県・指定都市六十二協議会を支える保護者と教職員で構成する責任ある全国組織として、子どもたちの健やかな育成と教育環境の向上、社会教育及び家庭教育の充実などを目的に、積極的に活動しております。

子どもたちの健やかな成長を図るためには、家庭・学校・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、連携を深めていくことが重要です。先般、第三次安倍内閣が発足しましたが、安倍総理は新内閣の最大の目標として「一億総活躍社会の実現」を掲げられました。この「一億総活躍社会の実現」を図るためには、次代を担う子どもたちの豊かな学びを支える学校教育環境の充実が必要不可欠です。

安倍内閣がこの大きな目標に取り組んでおられる中、財政制度等審議会において、機械的に教職員定数を削減すべきとの意見が繰り返し出されました。複雑・困難化する学校現場の実情を無視した無責任な議論が国でなされていることに対し、私たちは極めて憂慮しております。

子どもたちは、育ち学ぶ場所を自ら選ぶことは出来ません。子どもたちの学ぶ環境をより充実し、子どもたちの未来に責任を持つことは、私たち大人の責務であります。

学校において子どもたちが豊かな学びを行う上で、実際に運営を担う教職員の体制の充実が極めて重要です。日本の教職員は他国の教職員に比べて職務の幅が広く、勤務時間も長く、教職員の数は現在でも十分ではありません。

もし教職員定数を削減すれば、少人数教育や特別な支援が必要な子どもたちへの対応等きめ細かな取組ができなくなり、子どもたちの教育環境が悪化することは明らかです。

公益社団法人日本PTA全国協議会としては、青少年の健全育成を願い、全国的な教育水準の維持向上を促進する立場から、教職員定数削減ありきで議論されている状況を憂慮し、再度、教職員定数の削減に反対する緊急要望書について決議しました。

次代を担うすべての子どもたちに社会で活躍する力を育むために、全国六十二協議会の会長の総意をもって教職員定数の削減に反対し、教職員数の増など学校教育環境の充実を強く要望いたします。

## 国内研修事業



# めんそ〜れ渡嘉敷村！



日本PTA・(独法)国立青少年教育振興機構・沖縄県渡嘉敷村の皆さんからなる実行委員会が本格始動しました。渡嘉敷村での開催2年目となる今回は、昨年の経験を活かしより渡嘉敷村の皆さんと触れ合い様々な経験を積めるよう、熱い議論を重ねています。参加生徒たちは中学2年生という多感な時期に、渡嘉敷村の歴史や自然に触れ、また全国から集う仲間と寝食を共に過ごします。ともに笑い・励ましあい・知恵を出し合い過ごす研修での経験が、参加生徒たちの目指す未来の一助となることを願ってやみません。実行委員会一同はそんな熱い思いを秘め準備を進めています。

開催期間は3月26日～30日。渡嘉敷村の皆さんの全面協力のもと、平和や琉球文化について学び、雄大な自然にふれ、参加生徒たちが自分と向き合いチャレンジをし続けるプログラムで開催します。研修の報告は、350号に掲載しますので是非ご期待ください。

## 2年目迎える

## 中学生体験・交流

## 平成27年度日本PTA国内研修事業

2016年3月26日～30日(4泊5日)  
in 渡嘉敷村

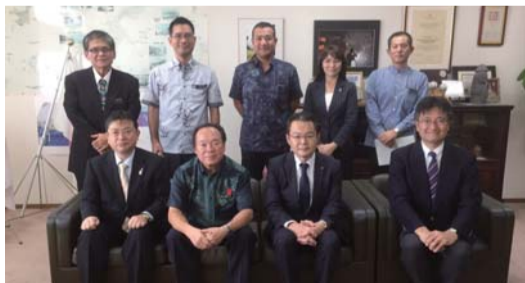
日本PTA全国協議会が昨年度、沖縄県渡嘉敷村にある国立沖縄青少年交流の家(独立行政法人国立青少年教育振興機構運営)で実施した国内研修事業を、今年度も2016年3月下旬に同青少年交流の家で実施します。

実施を前に、実行委員長を務める加藤寿一副会長(秋田県PTA)と齋藤芳尚常務理事らが行った渡嘉敷村訪問の様子です。

この中で渡嘉敷村の松本好勝村長は、「初めて行っていただいた2015年3月の国内研修は、村を挙げて全国から訪問してくれた中学生を受け入れましたが、村にとっても大変素晴らしい成果を残してくれました。また次も渡嘉敷においでいただきたく中学生の皆さんに多くの感動を味わっていただきたいと思います」と話しました。

このあと加藤実行委員長らは、村の施設やワークショップ、野外研修を行う場所を視察し、事業の成功に向け関係者らと入念に打ち合わせを行いました。

全国の中学2年の皆さん、たくさんのおしり出をエメラルドグリーンの海と、パッションレッドのハイビスカスが咲き誇る沖縄県渡嘉敷村で味わってみませんか？



沖縄県教育委員会 諸見里教育長を表敬訪問



渡嘉敷村長・松本好勝氏と加藤実行委員長

